

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 松涛会	代表者	斎藤 正樹	法人・事業所の特徴	家庭的な環境を作り安心、安全な日常生活を送れるよう支援している。行事、外出支援も充実している。敷地内には内科があり、往診や緊急時の受診で適切な医療が受けられ安心した生活を送る事が出来る。本人家族の希望があれば、最後まで施設での看取りも行なっている。
事業所名	小規模多機能 ケアタウン江の浦	管理者	中尾 効史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	1人	1人	人	4人	1人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			事業所自己評価を全員で取り組んでおり出来ている事出来ていない事を確認し改善計画を具体的に立てている。	自己評価時のミーティングでの出席率を上げ、常勤職員の2/3以上の参加を確保する。
B. 事業所のしつらえ・環境			スタッフが皆、明るい。笑い声が絶えないので入りやすい雰囲気である。	笑顔でお迎えし、入りやすい雰囲気作りは今後も徹底する。ハード面では来客用のスリッパを用意する。
C. 事業所と地域のかかわり			この施設がどういう所なのか、わかってもらえてないので、施設見学や、清掃活動等の地域の行事に参加し、知ってもらう。	地域で暮らす人を支援する為の相談や体操教室の開設、清掃活動の参加等で地域と協働し施設をアピールする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			江の浦地域だけでなく、近隣地域まで出向いてイベント等に参加してはどうか。	地域の情報を基に、地域ケア会議を開催してもらい必要な方の支援を行なっていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			民生委員の会長に運営推進会議への参加を、お願いしてはどうか。また、自治会長の参加も、確認し声を掛ける。	会議のメンバーを充実させ、地域で困っている方の情報交換を行い、より充実した会議にしていく。
F. 事業所の防災・災害対策			事業所の防災計画の内容が分からない。事業所、地域の防災訓練にお互い参加出来れば良い。	事業所の防災計画を会議の場で公表、説明する。民生委員だけでなく、他の近隣の方にも声を掛け参加して頂く。